



つくる人。まもる人。  
～地域を支える建設業に携わる人たち～



第7回 (株)日研コンサル 谷本 直樹さん  
竹中 渉さん  
とどろき  
筑北村 建設課 等々力 匠さん

「筑北村管理の橋梁点検について」

(はじめに)

筑北村が管理する橋梁は211橋。20年後には架設50年を超える橋梁が77%となるため、ライフサイクルコストの縮減と維持管理費の平準化を考慮した計画的な維持管理が必要です。

そのため現在、橋梁点検を実施しているところですが、村には技術者がいません。こうした中、点検をすべて委託するのではなく、少しでもコストを縮減できるよう筑北村の職員も自ら点検に取り組んでいるところです。

今回の「つくる人。まもる人。」はコンサルタント会社2名と筑北村職員の1名です。

(インタビュー)

■「現場の様子」

橋梁点検の現場は基本的に高所での作業が多いので、転落や怪我には十分注意する必要があります。また、損傷・劣化の見落としが大きな事故に発展する可能性もあるため、現場の雰囲気は常に緊張感のある状況です。

筑北村の橋梁は1970年代に設置された橋が多く、架設後40年以上が経過している橋が多数あります。施工された時期の影響もあるのか、交通量の割に劣化している橋が多いと感じています。

そのため、健全な橋と比べて劣化状況の把握等、点検及びとりまとめに時間と労力を要するところがやや苦勞しているところです。

(株)日研コンサル

私を含め建設係4名が関東地方整備局主催の道路構造物管理実務者研修(橋梁初級I)を受講しているため自主点検の際は心強いです。

筑北村役場は、技術職採用がなく、全員一般職ですが、お互いがサポートしあって業務を進めています。

(筑北村 等々力さん)



谷本直樹さん(44)

竹中渉さん(37)



筑北村  
等々力さん

日研コンサル  
谷本さん



筑北村 建設課  
等々力 匠(25)

## ■「現場の目標」

①事故、怪我のないよう、安全第一を徹底すること②損傷・劣化の見落としが大きな事故に発展する可能性もあるため、橋の周辺環境、立地条件等を勘案した上で、その橋の劣化種類の可能性をある程度予測した上で橋の点検を見落としなく実施すること③劣化の状況が判りやすいように取りまとめを行うことを目標としています。



近接目視と打音検査



(株日研コンサル)

橋梁点検の技術を向上させ、自分たちで点検できる橋梁は、自分たちで点検するようにしています。

(筑北村 等々力さん)



## ■「土木の仕事の魅力」

- ・土木の仕事の魅力の一番は、地域・社会の最も根幹となるインフラ整備に直接的に関わることができる点です。社会の維持・発展において土木は今までも、そしてこれからにおいても欠かすことのできない重要な仕事だと思っております。  
(谷本さん、竹中さん)
- ・住民の生活に直接的に影響があり責任が重い一方で目に見えて成果がわかるのでやりがいがあります。  
(筑北村 等々力さん)

## ■「土木の仕事を目指した理由」

- ・土木の魅力を高校生のときから感じており、土木の道を目指しました。  
(谷本さん)
- ・自分が携わった仕事が形となり、地図に残る仕事にとっても魅力を感じ、土木の仕事を目指しました。  
(竹中さん)

## ■「これからの目標」

- ・現在の社会経済情勢を踏まえ、より効率的に持続可能な社会発展に貢献していく一員でありたいと思います。  
(谷本さん)
- ・まだまだ、半人前なので、興味を持って色々な知識を吸収し一人前の技術者になることが目標です。そしていつかは「〇〇の分野ならあいつに聞け」みたいにいわれてみたいです。  
(竹中さん)
- ・建設関係の専門知識を充実させ、業者、他の自治体の職員に負けぬように頑張ります。  
(何か問題があった際、対等に議論できるように)  
(筑北村 等々力さん)

## ■「休日の過ごし方」

- ・子供とサッカーしています。  
(谷本さん)
- ・気が向いた時にウィンドサーフィンを少々。  
(竹中さん)
- ・身体を動かしてリフレッシュしている。週に1回はジムへ行きます。(筑北村 等々力さん)

コンサルさんも惜しみなく丁寧に説明し村担当者も熱心に耳を傾け、双方の前向きな姿勢からやる気が伝わってきました。サーフィンどこですのか気になります。ご協力ありがとうございました。